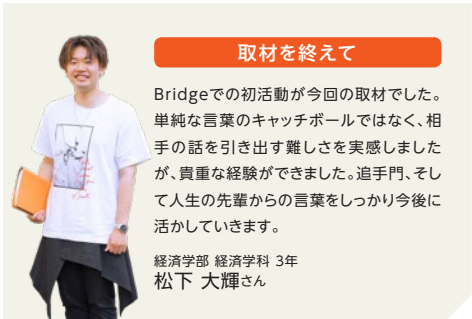




Profile | 田中 克茂 氏

1975年生まれ。1999年経営学部経営学科卒。建築専門学校を卒業後、設計事務所勤務を経て一級建築士資格取得。2010年に株式会社アンビエンテを設立。保育園や認定こども園、子育て世代の注文住宅など、子供のための建築物を多く手掛ける。テーマは「子供の笑顔」。



取材を終えて

Bridgeでの初活動が今回の取材でした。単純な言葉のキャッチボールではなく、相手の話を引き出す難しさを実感しましたが、貴重な経験ができました。追手門、そして人生の先輩からの言葉をしっかりと今後に活かしていきます。

経済学部 経済学科 3年
松下 大輝さん

追手門学院大学の卒業生を訪ねて

[interview : 松下 大輝]

第30期卒業生 一級建築士事務所 株式会社アンビエンテ 所長 田中 克茂 氏

松下◎お仕事の中身を教えてください。

田中◎建築設計事務所を営んでいます。設計図作成のほか、着工に至るまでの申請業務、ゼネコンの選定、建物品質を保つ工事監理業務など、様々な仕事があります。

松下◎建築は追大にはない分野です。めざしたきっかけは何ですか。

田中◎もともとは家業を継ぐつもりで追大の経営学部に入りました。ところがバブル崩壊や阪神淡路大震災が重なったことで難しくなり、進路変更を余儀なくされました。そんな折、私の師匠となる一級建築士の方と偶然の出会いがあり、今の仕事をめざすことにしました。

松下◎独立は当初から考えていたのですか。

田中◎はい。専門学校卒業後、一級建築士の受験資格を得るため、いくつかの設計事務所で実務経験を積んで独立しました。建築士としてのスタートは遅く、大学は文系。技術力だけでは勝負できません。そんな自分が何で他者を上回れるのか。その気づきがあった勤務時代でした。

松下◎ご自身の長所、それは何ですか。

田中◎例えば、コミュニケーション力や交渉力ですね。お客様の為になるなら、通常建築士ではないような交渉を様々な場面でしています。

松下◎事例を教えてください。

田中◎当社のある京都市には景観保全条例があり、地域によっては非常に厳しい建築制限をうけます。少しでもお客様が有利にな

るように、役所と粘り強く交渉し緩和策を引き出しました。普通は条例でだめならそれで終わりという話なのですが、お客様にとって建物は何十年と付き合うものなので。

松下◎そうした仕事ぶりは、大学時代の経験が活かしている面もあるのでしょうか。

田中◎追大だからこそ身についたことです。文化会(現追風)学術局で局長を務めていました。いろんな人々とかわることで、リーダーとしての実行力や、相手の立場、人物像を見極めながら交渉や調整をすることを覚えました。これが今に活かしています。

松下◎印象に残っているお仕事は何ですか。

田中◎独立して最初の施設設計である保育園の園舎です(撮影場所)。工事資材の運搬を想定していたルートが使えなくなるなど、紆余曲折がありましたが、近隣のご協力を得ながら無事に竣工できました。

松下◎どんなときにやりがいを感じますか。

田中◎建物が完成して引き渡すときはとても達成感がありますね。竣工の際、お客様に直接感謝していただける素晴らしい仕事です。

松下◎後輩へのメッセージをお願いします。

田中◎現在就活に励んでいる学生さんも多いと思います。ストレートに就職するのも素晴らしいことですが、迷うときは就活だけに縛られず、様々な事に挑戦してください。私は、回り道をして一級建築士になりました。結果、回り道は自分の力になっています。自分の可能性を大切にしてください。

大学で培った力が、建築士という仕事に活かされている

Bridge OTEMON GAKUIN UNIVERSITY VOL.15

発行日/2019年10月1日 発行/追手門学院 総務室広報課・学生企画広報スタッフ
〒567-0008 大阪府交野市西安威蔵-1-15 TEL:072-641-9590/FAX:072-641-9645 編集協力/株式会社キュービッドデザイン
[通巻53号] ※1999年6月15日創刊(当時の誌名はOTEMON PRESS)。2012年10月より「BRIDGE」へと誌名変更。
追手門学院大学ホームページ <https://www.otemon.ac.jp>

Take Free
ご自由にお持ち帰りください

Bridge

学生・教員・職員のためのインタラクティブ・マガジン
[ブリッジ]



▲ 総持寺キャンパスを案内するキャンパスアテンドスタッフ

SPECIAL FEATURE

特集:

総持寺キャンパス探検隊

知られざる魅力を探せ!

連載:

社会へのBridge [卒業生×在学生]

Vol.09 | 田中 克茂 氏 [一級建築士事務所 株式会社アンビエンテ 所長]

連載:

「想像もしなかった自分史」を始めた学生の肖像

Vol.10 | 経営学部 マーケティング学科 4年 石川 魁我さん [フットサルチーム FC.BAMbi 初代代表]

編集後記

2年生からBridgeの制作に参加し、今回はスポットライト(P12~13)の学生への取材の他に、なんと巻頭特集でモデルをさせていただきました。自分達で企画し、取材や撮影、校正を行うので、皆で1つのものを作り上げる達成感が得られます。少しでも興味がある方、これを手にとってくれたあなた、ぜひ見学に来てください!(仮谷 優花)

学生企画広報スタッフ

岩田 悠暉 [経済学科 3年]

野口 佳純 [経済学科 3年]

仮谷 優花 [マーケティング学科 3年]

兵庫 沙耶花 [マーケティング学科 3年]

永松 雄太 [経済学科 3年]

市川 大輝 [心理学科 3年]

松下 大輝 [経済学科 3年]

吉原 久美 [地域創造学科 3年]

安原 杏奈 [地域創造学科 3年]

ユン シハコル [心理学科 2年]

上茶谷 朱里 [経済学科 2年]

橋本 心愛 [経営学科 2年]

池川 亜聡 [マーケティング学科 2年]

野間 菜月 [マーケティング学科 2年]

「BRIDGE」制作メンバー[学生企画広報スタッフ]1・2年生 大募集中!

当マガジン「BRIDGE」を一緒に作ってみませんか? 興味のある人は気軽に見学しに来てください!

●見学の申し込み・お問い合わせ/茨木安威キャンパス1号館2F 総務室 広報課[担当: 足立/田中] (または下記メールアドレスにご連絡ください)

[スタッフ会議] 週1回/12:40~14:00頃まで(昼休み限定の参加もOK・他団体所属の学生も歓迎します)

※メールでの応募・お問い合わせはこちらまで ▶ koho@otemon.ac.jp [担当: 足立/田中]

メールを送り
いただけます▶



想像もしなかった自分史がはじまる
おうてもん

追手門学院大学

自分史上、
想像以上!

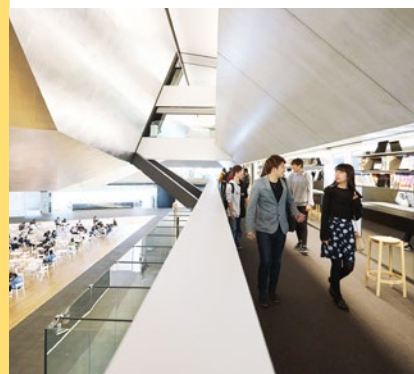
SOJJI CAMPUS EXPLORATION

飯谷 優花 隊員

総持寺 キャンパス 探検隊

知られざる魅力を探せ!

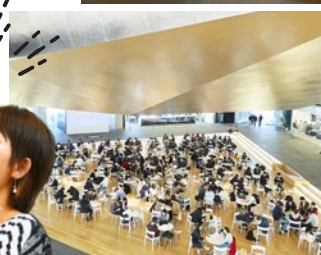
兵庫 沙耶花 隊員



まるで宇宙船? 2019年4月に姿を現した建築物の正体とは...?!
この巨大な建物の謎を明らかにするため、BRIDGE制作メンバーから
2人の隊員が派遣されました。建物内部に潜入し、隅々まで探検する
指令を与えられた彼女たちは一体何を発見するのでしょうか...
総持寺キャンパス探検の旅が今はじまる!



すごい迫力!!
探検しがいがあるね!



Let's Go!

探検
スタート!

CHECK POINT
01

保健室発見!

書店の横の
細い通路を
抜けると...

WILホール
WIL Hall

1F

存在感
半端ない!!

まるで宇宙船!
知識の探求者が集う

建物内に一歩足を踏み入ると、そこには宇宙空間を思わせる広大な空間が。一際目を引くのが、中央上部に配された構造物。宇宙船は実在した...?! 探検早々驚きを隠せない隊員でしたが、よくよく調査すると、ここは「人と人が交差する場」だそう。知を求める学生たちが、思い思いに過ごす場所として、時にはイベント会場としても使用されるようです。

CHECK POINT
02 WILスタジオ
WIL Studio

4つの部屋に潜入!
力を伸ばす鍵がここにある

WILホールを囲む形で配置されているWILスタジオに潜入。英語コミュニケーション、研究発表、グループワークなど、部屋ごとに様々なアクティビティが展開されているエリアには、これからの国際社会で生き抜く「鍵」があることが判明しました。

Communication Studio

ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションなどに自由に取り組める空間。迫大の新教育WILを実践する場所です。

Presentation Studio

学んだ成果を発信・共有することは、WILの基本。ここでプレゼンテーションを何度も繰り返し、「プレゼンの達人」をめざしてみませんか。

PBL Studio

PBL(Project-Based Learning)の出発点はココ。地域社会の課題解決にチャレンジするなど、フィールドワークを加速させる拠点です。

Global Studio

日本語・多言語での人的交流やネイティブ教員との英会話、多文化ワークショップなどを行います。初心者大歓迎。世界に一歩踏み出そう。



国際交流教育課 **Gスタ**

国際交流教育課では、各種サービスをGスタと名付け、学生の皆さんに提供しています。※どちらも予約制です

留学相談

留学ってなに? 初心者から上級者まで気軽に何でも相談受付中。



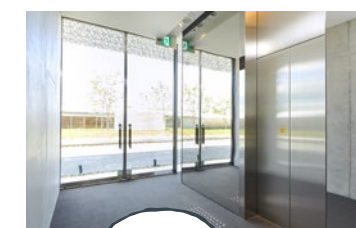
KIOSK (キオスク)

本学で学ぶ交換留学生と、会話をしよう! 追大で絶賛異文化交流中!

近道ができる
出入口

TOPIC

1階にはメインエントランス以外に、ショートカット用の扉があります。エレベーターホール奥の出入口は、食堂棟などへの近道として移動に便利。積極的に活用しよう!



移動に
便利すぎる





CHECK POINT 03 ディスカバリー プロムナード

見渡す限りの本！
手を伸ばせば新たな発見が

上階の通路に移動した探検隊が発見したのは見渡す限りの本の壁。分野ごとに整理された数多くの書籍から、新たな興味を発見できるはず！ここで資格のチャレンジを決めた学生もいるとか。カウンターでは本の閲覧はもちろん、スマホ充電もできます。

知っているとお便利なお宝設備



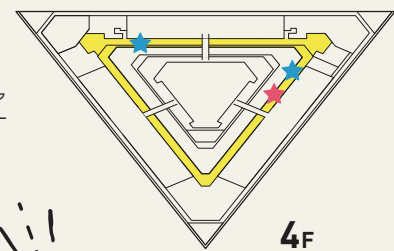
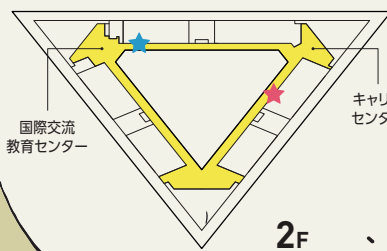
① プリンター

レポートや資料をいつでも印刷できるオンデマンドプリンターも。授業の合間に活用しましょう。



② 自動貸出機

本・雑誌の貸出は、画面でカンタン手続。返却は図書館カウンターまで。期限は2週間です。



巨大な本の所蔵庫発見。
知識の泉に飛び込め！

大学棟の中心核、巨大な所蔵庫には、閲覧スペースを兼ねた階段と、天井にまで達する壮大な書架が存在。所蔵されている10万冊もの図書が、私たちが知識の泉へと誘います。2層構造の3階部分には予約制のグループ学習室やソファ席があり、仲間と会話しながら学習が可能。3.5階は静かに自習する場として、目的ごとに使い分けられます。



3Fは会話OK！
グループワークが
はかどる

CHECK POINT 04 アラムナイ ライブラリー

3F 3.5F



隊長！ここにもコンセントが！

明日から自慢できる?!

総持寺キャンパスの 豆知識

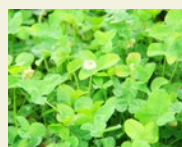
1年中桜が満開!

総持寺キャンパスには合計5万7千個もの桜が散りばめられています。どこにあるかは、探してみてくださいね。追大生一人ひとりに「サクラサク」の便りが届くことを願っています。



四つ葉を探せ!

一見芝生に見えるスカイガーデンや広場の緑は、実はすべてクローバー。これからますます生い茂り、緑が濃くなっていくでしょう。幸運の四つ葉のクローバーを手にするのは誰?



三角形のヒミツ

校舎としては他に例のない三角形のデザイン。このアイディアは、実は「おむすび」が元になっていて、その具にあたるのが図書館なのです。そう言われると、より一層親しみが湧きますね!



05 パソコン 教室

3F



IT機器を駆使して
学びの扉を開け!

図書館を出て次に向かったのは、授業で使用するパソコン教室。隣にはパソコン自習室があり、自分のパソコンを持ち込んで自習や作業をすることが可能です。情報メディア課で入手したパソコンはここで活用できそう。ただし、返却は当日中なので注意。

Mission

情報メディア課窓口にて
情報社会の必須アイテム
「ノートパソコン」を入手せよ!



3.5Fは
No talking!
自習に集中!

占い師
兵庫先生も絶賛

CHECK POINT

06 スカイガーデン

5F

ここは総持寺の
名スポットになる予感!



最上階のオアシス。
空と緑が広がる安らぎの空間

大学棟探検のラストは屋上へ。ここが総持寺キャンパスのオアシスなのでしょうか...! 開放感あふれる空間に人々の安らぎを発見しました。天気の良い日は仲間と一緒に弁当を食べるのも良さそう。中央に広がる緑は芝生のように実は...? 答えは4P下に。

いつでも、どこでも ライブラリエ

TOPIC

インターネット上で本を借りられる電子図書館「LibraiE(ライブラリエ)」。



URL <https://www.d-library.jp/otemon/g0101/top/>



Good job
魅力満載の
キャンパス
だったね!

探検完了

総持寺キャンパス

10分 ↑ ↓ 15分

安威キャンパス

キャンパス間は、 シャトルバスor貸出自転車で らくらく移動!

総持寺キャンパスと安威キャンパス間は、無料のシャトルバスが運行しているので楽に移動できます。天気の良いときは貸出自転車を借りて移動するのもオススメ! 運動不足解消にも◎。

HOW TO 貸出自転車

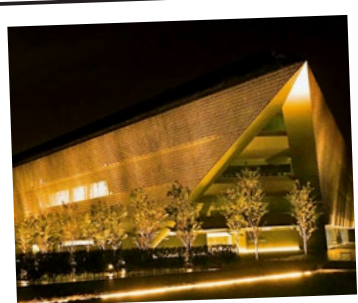
- 1 総持寺キャンパスでは総合オフィス、安威キャンパスでは学生支援課で学生証を持参の上、申請してください(貸出時間 平日9:30~16:40)。
- 2 鍵を受け取り、自転車置き場から各自利用してください。
- 3 返却は貸出日の翌日(大学が休業の場合は次の平日)12:00までに自転車を借りたキャンパスへ。



インスタ映えSpot

What a フォトジェニック!!

いいね！がたくさんもらえる？！みんなが知らない
総持寺キャンパスの映えスポットを探せ！



♡ ○ ◀
#夜のキャンパス #黄金郷
#金色に輝く #謎のリッチ感

ゼミ終わりにキャンパスを出たら、星と雰囲気
が全然違ってびっくり！一見の価値あり！！



♡ ○ ◀
#スカイガーデン #青空
#一面クローバー(予定)

初めて来た時はまだ生え始めたけど、
ひと夏経ててクローバーが増えてきた！



♡ ○ ◀
#オシャレ壁 #モデル気分
#総持寺キャンパスの壁は映える

外壁とキャンパス内のコンクリート壁を
使えば、ひと味違う写真が撮れるかも！



♡ ○ ◀
#空綺麗すぎて2回も撮った
#そらlove #目に優しい

大学棟と食堂棟の間にある並木道
葉っぱの隙間から見える青空が気持ちいい！

食堂&カフェ

◀追手門食堂

学食には珍しく、かまどと精米機があるごは
んのおいしい食堂。運営は安威キャンパスと
同じ「まいどおおきに食堂」です。

▼OGカフェ

揚げたてのドーナツが自慢のカフェ。シナモ
ン、黒糖、きなこなど種類も豊富です。ソフト
クリームも人気商品です。



食堂内で
揚げたしっとり
ドーナツ

話題のタピオカミルクティーやクレープ、
チーズドックがやってくる！学割でお財
布にも優しい♪ タピオカミルクティー
280円、イチゴチョコ生クリームクレープ
400円 ※価格は取材時のものです



Tapioca



Crepe

ハート型の
イチゴが
かわいい！



キッチンカーの
出店情報は、毎月
届くハルカメールか
キャンパススクエアの
お知らせで
チェック！



松下 大輝さん
MATSUSHITA DAIKI
経済学部
経済学科 3年

前の筆箱はボロボロになるまで使い込み、誕生日
にやってきたのがこのメイド・イン・ジャパンの革
製品。ご覧のように僕の名前が刻印されている
のがポイントです。オイルで手入れする必要がある
のと少量しか入らないのが難点ですが、気に入
っています。次を買うとしたら個性的なデザイ
ンで、たくさん入るものが入っていますね。



名前入りのオンリーワンペンケース！



COOL



上茶谷 朱里さん
KAMICHATANI AKARI
経済学部
経済学科 2年

ロンドン短期海外セミナーで自分へのお土産とし
て購入。ロンドンでしか買えない自慢の筆箱で
す。私は赤が大好きなので、赤色のものを見ると
つい手に取ってしまいます。決して派手好きとい
うわけではなく、柄はシンプルでカッコいいのが
好み。ファスナーの走りのよさや、取り出しやすさ
といった実用性も重視します。



中西 七望さん
NAKANISHI NANAMI
経営学部
経営学科 2年

昔うさぎを飼っていたのですが、モフモフな長い
耳がかわいくて、高校3年のときから使っていま
す。大きくてかさばるけど、かわいいから我慢でき
ます(笑)。高校時代はハサミやノリも入れていた
ので容量が必要でしたが、今はペン類と消しゴム
だけということが多くなり、次はコンパクトなもの
がいいかなと思っています。



CUTE

OIDAI STUDENTS FASHION

OTEMON COLLECTION

VOL. 9

| 特集 | ペンケース |

interview & text & photo : コンシハル/松下 大輝/上茶谷 朱里/
野間 菜月/岩田 悠暉



FUNNY



高 文興さん
GAO WENXING
国際教養学部
国際日本学科 1年

動物が大好きで、3年前にネットで偶然見つけた
魚のペンケースと、去年海遊館のお土産コーナー
で買ったペンギンのペンケースの両方を使ってい
ます。選んで大事にしているポイントは形と手
触りに加えて、汚れが目立たない色や柄の3点で
す。次はアヒルか、動物の中でも特に好きな鳥の
ペンケースを買いたいと思っています。



高橋 夏海さん
TAKAHASHI NATSUMI
社会学部
社会学科 2年

このペンケースだと遠くからでも自分のものだ
とわかり、他人の持ち物と間違えられることがありま
せんし、何より映えます！気に入っているのです
が、利便性には問題が。開けにくく、口が外れるの
で、一体型だともっと良かったんですが…。実はも
う一つ持っていて、カバンを変えることが多いの
で、それにに応じてペンケースも使い分けています。



OPEN!

間違えて
短いのちゃうかも!!



広げて使える一体型



岩田 悠暉さん
IWATA YUKI
経済学部
経済学科 3年

1年くらい前に無印良品で購入。一目惚れで、値
段も200円くらいだったので即決でした。手帳と
一体型になるタイプなのでかさばらず、持ち運び
にも便利です。下敷きにならないように広げられ
るので書く時に邪魔になりません。欠点かと思いつ
かないくらい気に入っているの、次もまたこの
ペンケースを買います。



仲間と244名の人たちの 思いを背負ってプレーする。



経営学部 マーケティング学科 4年
[フットサルチーム FC.BAMbi 初代代表]
Kaiga Ishikawa
石川 魁我さん

追大の「関西最強」サークル

小学生の頃から夢はプロサッカー選手。高校時代はJリーガーを数多く輩出している強豪校で夢を追い求めていました。「高校最後の試合で自分はベンチにいます。勝てば優勝という状況でかわかることもできなかった。(Jリーガーは)もう厳しいなあと……。大学でサッカーを続けるつもりはありませんでした」。

フットサルを始めたのはアスリートの血が騒いだというよりは、「学部がいくつもあるのに、学部内にしか友達ができないのは寂しい。追大に数多くいるサッカー経験者が一緒に活動できる場をつくろう」とフットサルサークルを構想。自ら代表を引き受け「FC.BAMbi(バンビ)」を結成します。掲げた目標は「学校に来るのが楽しくなる学生を生み

出す」「10年後に訪れても存在しているサークル」。週1回の練習を仲間とともに励むようになりました。翌年には対外試合に参加できるチームに。最初の大会で、FC.BAMbiの2チームが2位と3位になる素晴らしい戦績を収めます。「目論見どおりサッカー経験者の受け皿になりました。他大学は選手が分散するけど、追大はここだけなので能力の高い学生による追手門選抜が組めました。やるからには上をめざす。だから大会にも出ました」。

試合後はマネージャーが撮影した動画を皆で観て改善策を話し合うなど、チーム力の向上に努めました。部員も増え、結成時は6〜7名だったのが2年後には100名もの組織に成長。着実に力をつけ、次第にFC.BAMbiは、「関西最強フットサルサークル」の異名をとるようになります。そして、石川さんにとって転機となる大会を迎えます。



自分史上、
想像以上!

「想像もしなかった自分史」を
始めた学生の肖像

Vol.10

[interview : 市川 大輝]

サークル部員からプロへ

関西の大学、約80チームが集うフットサル大会「Chaleur Cup」。決勝戦は先制を許す厳しい展開も、逆転で勝利し、頂点に立ちます。「優勝の瞬間、感極まって泣きそうになりました。大学生活で最高の思い出ですね」。

優勝の副賞はイタリア旅行と現地プロチームとの試合。現地では3部、4部リーグのプロチームと対戦し、4部チームには勝利を収めます。「イタリア人はフィジカルが強い。でもテクニック面では負けていませんでした」と手応え十分の海外遠征を終え帰国。そろそろ就活に向けて動く時期でした。すると後日、大会関係者から1本の電話がかかってきます。「真剣な話」と切り出されたその電話は、「イタリアから声がかかっている。チャレンジしてみないか」

という思いがけない内容でした。「参加者で声がかかったのは自分だけ。こんなチャンスはない。人生を賭けよう」とイタリア行きを決断。問題は諸経費でした。そこで石川さんは「クラウドファンディング」の活用を思いつきます。「やりたいことを発信してお金が集まるしくみは面白いし、これを使うことも一つのチャレンジと思いました」。賛同者は予想を超え、244名。多くの人が石川さんの夢を物心両面で後押ししてくれました。「これまでの仲間と244名の人たちの思いを背負って行くことは、大きなモチベーションになります。外国人選手なので結果を出さないと次の契約はない。中心選手をめざします」。今シーズンは2019年10月から翌年4月まで。石川さんはローマのプロフットサルチームに所属します。その活躍ぶりが報道を通じて届く日を待ちましよう。

櫻井 鼓

准教授

心理学部 心理学科

T S U T S U M I S A K U R A I

[interview : 上茶谷 朱里 / 橋本 心愛]



神奈川県警察本部生活安全部少年課少年相談・保護センター、神奈川県警察本部警務部警務課被害者支援室、警察庁長官官房給与厚生課犯罪被害者支援室、横浜国立大学非常勤講師などを経て、2019年4月より心理学部准教授。担当科目は「臨床心理学研究法特論」「臨床心理基礎実習」「犯罪心理学特論」「心理面接実習」「心理実践インターンシップ」。著書に「性暴力被害者への支援―臨床実践の現場から」(共編著・誠信書房)などがある。公認心理師、臨床心理士。

犯罪被害の相談・援助に携わってきた

痛ましい事件・事故があとを絶ちません。被害者が亡くなった場合、その家族は悲痛な思いにさらされます。命にかかわるケースでなかったとしても、事件・事故の性質によっては癒しがたい精神の傷跡が残ります。臨床心理士の櫻井先生は、これまでに警察職員として犯罪被害者や非行少年の支援にあたってきました。神奈川県警に入庁し、最初の部署は少年課少年相談・保護センター。相談専門員(心理員)として、加害者・被害者双方の少年*たちに対する相談・援助を行ってきました。

「心理面接の場で、もしかしてここが彼、彼女の引っかけりかも知れないと感じたら、その部分を解決すれば問題が止む可能性があります。学校に出向いて先生に働きかけたり、親御さんに助言したり、必要に応じて児童相談所と連携したり、そのような仕事をしていました。子供には可塑性があり、カウンセリングを通じて盗みが止むなど、変わって行く姿を見るのは本当にやりがいがあり

トラウマという人間の 普遍的な問題を追究していきたい。

ました」と櫻井先生。更生を遂げた元非行少年たちから感謝の手紙が届いたことも。

その後、神奈川県警の被害者支援室という部署で、櫻井先生は第一号のカウンセラーとなります。殺人事件や交通事故で家族を失った人、性的被害に遭った人、ひどい暴力被害を受けた人など、様々な被害者およびその家族と向き合ってきました。相手は精神的ショックを受け、不安や絶望の淵にいる人たち。「想像を絶するような方々にお会いしてきた」という現場でした。

「最近になって、ようやく被害者の精神的な傷が意識され出しました。それでも、報道では犯人像の分析など加害側への関心が先行してしまい、被害者、被害者家族といった人たちの傷はなかなか注目されません。今まで日が当たらなかった心の傷に、より関心を寄せてもらえるような研究もしていきたいと考えています」。

大切なのは心の傷をみること

政府が犯罪被害者の権利保護を推し進めていこうとするなか、櫻井先生は警察庁犯罪被害者支援室へ初めての臨床心理士として出向し、ここでも再び“第一号”人材となります。

「カウンセリングの指導係として、犯罪被害者や遺族のための心理的支援に関する全国への指導や研究などに従事していました。前例のない職務で、今の日本に何が不足しているのか。自分で課題を見つけていく必要がありました。その際、県警で被害者やご家族と接してきた経験が活き、机上の理屈ではなく、現場感覚を政策に反映できた」と振り返ったように、警察庁では、犯罪被害者が自ら選んだ専門家のカウンセリングを受け、その費用を国が負担する「カウンセリング費用の公費負担制度」の全国展開などに尽力されました。

「警察でいろんな部署を経験して、トラウマという一生の研究テーマといえるものを見いだせました。トラウマとは要は心の傷。心の傷をみることは心理職にとって基本中の基本です。非行少年も心の傷を何らか抱えているから非行に走る。その普遍的なものに対する研究をもっと深めたい。それが追手門学院にきた大きな理由です」。

研究が社会を動かす力になる

ゼミのテーマは「犯罪心理学」。犯罪被害者、援助者の心理や、非行少年の心理について調べるとともに、よりよい援助の方法を見いだすという実践的な研究にも取り組んでいます。

「研究の面白さは実際に社会を変えて行けること。2017年に刑法の一部が改正されたのも、被害による影響の大きさが世間に認識され、国を動かしたからです。犯罪に関するデータの蓄積が、世の中をよりよくする力になり得る。これがゼミの興味深い点だとお伝えしたいですね」。

櫻井先生の認識は「犯罪は遠い世界の出来事ではない」ということ。たとえば、いじめ、痴漢、交通事故。いずれも身近に起きていることであり、私たちはいつ当事者になってもおかしありません。もし自分の属する社会でいじめが生じたら、どう対応すればいいのでしょうか。

「いじめには、加害者、被害者、傍観者がいます。まずは傍観者にならない。さらに傍観者が支援者に変われば事態は好転するはずです」。

一人ひとりの意識が犯罪の抑止につながることもある。その意味でも、犯罪は遠い世界の出来事ではないといえるのかもしれない。

スタッフの視点から

初めての取材でとても緊張しましたが、誰もが当事者になり得る話題が多く、櫻井先生の授業を受講したくなりました。意外な経歴にも驚きましたが、そこで経験されたことを私たち学生に教えてくださっているんだと感じました。

*少年法上の20歳に満たない子供(男女)

追大生にスポットライト

interview & text & photo : 岩田 悠暉 / 飯谷 優花 / 兵庫 沙耶花 / 永松 雄太 / 橋本 心愛 / 池川 亜聡

Vol.7【研究系クラブ】

追大の研究者たちを直撃!

普段の学問だけじゃない。追大には多種多様な研究活動の場があります。
趣味だってトコトン突き詰めれば、それは立派な研究なのです。

- ① 活動内容&日時 ② 入部したきっかけ ③ クラブの楽しいところ

落語研究会



青木 拓未さん
心理学部
心理学科 3年

- ① 落語以外にお笑い関係なら何をしてよい部活なので、大喜利、寄席、漫才、フリップ芸もしています。毎週水曜日に活動していて、第2・第4金曜日には第2学生会センター2階で寄席を開催中です。
- ② どの部活に入るか考えていた際、小学校のときに見た落語が頭をよぎりました。個人で自由にできるのも落語のいい点です。
- ③ 落語を教えた下級生たちが、寄席で成長した姿を見せてくれたときですね。

SPECIAL QUESTION

落語の面白さとは?

恋煩いで仕事を休むとか、今の社会では受け入れられない人間がたくさん登場すること。それを演じるのが、また楽しい。



寄席のトリを務めたときの写真で、演目は「紺屋高尾(こうやたかお)」。お客さんに楽しんでもらえるように喋り方を工夫しました。緊張しましたが、達成感を味わえました。

映画研究部



2018年12月に行った上映会の際の記念写真です。学外で他の方たちの作品も観させてもらう機会なので、全員スーツ姿での参加となりました。



土井 一輝さん
社会学部 社会学科 2年

- ① 毎週月曜日の5限終わってから20時30分頃まで活動しています。ここでは映画や上映会について話し合っており、自主映画製作のための撮影は別に時間を設けて行うことがほとんどです。
- ② もうノリだけです。別の団体に入ろうと思っていたのが面接で落ち、入れたのがここでした。もちろん、映研で正解でした!
- ③ 活動日とは別に部室へ行くと必ず誰かがいて、ご飯を食べたり喋ったりしています。部員と一緒に過ごす時間は本当に楽しい!

SPECIAL QUESTION

今までに製作した映画は?

5~10分のショートムービーが多く、転生物やヒーロー物、主人公がアニメキャラのタペストリーに愛を叫ぶ作品、なんかもありましたね。

児童研究会



菅谷 文哉さん
心理学部
心理学科 2年

- ① 保育所や茨木フェスティバル、ジュニアキャンパスなどでのボランティア活動を行っています。部会水・金の5限終わり。保育所には月に1~2回くらいの頻度で訪問しています。
- ② 知人に誘われたのがきっかけです。もともと子ども好きというわけではなかったのですが、部活を通じて好きになりました。
- ③ やはり保育所訪問で子どもたちと触れ合うことです。1年生も多く入ってきて総勢23名、皆でワイワイ楽しく活動しています。

SPECIAL QUESTION

子どもたちのかわいいところは?

まだ意思疎通が十分にできない2歳くらいの子どもたちが、一生懸命にかを伝えようとしてくれるところ。こっちが癒されますね。



ジュニアキャンパス(茨木市の小学生を対象とする工作教室)のワンシーンです。小学生といろんなモノづくりを楽しんでいます。写真はハンコづくりの日。

旅行研究会



万田 健太さん
経営学部
マーケティング学科 2年

- ① 火曜日の5限終わりに集まって、旅行プランを練るほか、学祭などのイベントに向けて話し合います。旅行は長期休暇に一度です。
- ② きっかけは勧誘ですが、もともと旅行が好きだったし、大学では何かの団体に所属したいと思っていました。
- ③それほど時間を取られる部ではないので、自分の時間が十分に確保できます。余った時間とお金で気軽に旅行に出かけ、皆でご飯を食べてといった感じの、いい意味で「ゆるい」部活です。

SPECIAL QUESTION

今までで一番よかった旅先は?

1年生のとき初めて部活で訪れた名古屋街です。食、文化、アクティビティなど、いろんな魅力があり、しかも安く楽しめました。



2019年春、遠足に行ったときの一枚です。動物と触れ合える施設だったのですが、皆一心不乱にうさぎを撫でていました。とてもかわいかったです。

マスコミ研究会



石井 壮さん
地域創造学部
地域創造学科 2年

- ① 月・金の5限終わりに活動しています。学祭のためのショートムービー制作や外部コンテスト用、街のPRムービーなども制作しています。部員は30名弱。春と夏には合宿も行います。
- ② 部活紹介で、観たマス研の動画が面白くて「自分もつくりたい」と思っただけです。いつも楽しく撮影しています。
- ③ ゆるりとした部活で、動画編集初心者でも大丈夫。それでいて、機材は揃っており、制作環境はしっかり整っています。

SPECIAL QUESTION

制作する動画の特徴は?

MVやCMのパロディといった作品ですね。ドッキリ系を試したこともあるのですが、反応が薄すぎてボツになってしまいました。

考古学研究会



上田 理央さん
社会学部
社会学科 3年

- ① 毎週木曜日の昼休みに次の計画を話し合い、月に1回程度、近畿圏の神社仏閣を巡っています。毎回皆で作成した「旅のしおり」を持参します。旅先でガイドさんの興味深い話を聞く機会もあります。
- ② 大好きな歴史ゲーム「刀剣乱舞が好きだな」という勧誘ビラに惹かれました。他のクラブも見ましたが、この一言で決めました。
- ③ 歴史にゆかりのある場所に行けるところです。一人では行動できないこともありますから、部活がいききっかけになっています。

SPECIAL QUESTION

おすすめの場所は?

京都の鞍馬寺です。見どころはたくさんありますが、おすすめは紅葉の時期。叡山電鉄の「もみじのトンネル」は絶景ですよ。



京都の八木邸を訪れてきました。幕末に新選組の屯所として使われていた屋敷で一般にも公開されています。手前には土産物が売られていて、私は刀の名前が彫られたお守りを買いました。

アメリカ民謡研究部



軽音団体の合同ライブの写真です。撮影は写真部。この日のために1限前や夜通しスタジオにこもって、誰にも負けないくらいの練習量をこなしました。それまでの集大成といえるライブでした。



小牧 大輔さん
地域創造学部
地域創造学科 3年

- ① 月・水・金の18時50分から19時30分に集まり、その後はバンドごとに自由に練習します。関西フォークソング連盟でのライブ活動のほか、5号館の前でも演奏していますので見にきてください!
- ② 5号館前で行われていたアメ民のデモンストレーションです。ベースの人がかっこよくて、自分もベースをやらうと思いました。
- ③ 絶対に皆がバンドを組めて、他大学の友達もできやすいところです。小さなフェスで手づくりのライブができるのは貴重な経験です。

SPECIAL QUESTION

思い出に残っているライブは?

初ステージだった連盟の1年生を集めたフレッシュマンコンサートです。観客がノリノリになってくれたのが楽しかったですね。

追手門学院大学の躍進に大きな注目！

2019年9月7日号の週刊ダイヤモンドの大学特集にて、

「序列異変を起こした中堅大学の下克上」というタイトルで、本学の近年の躍進が大きく取り上げられました。

1990年をピークに20年間下がり続けた志願者数を2013年から回復基調に乗せ、7年連続で志願者増を実現。

2019年度入試においては、新キャンパスの開設や新教育コンセプトWILの下、教学改革の進展に伴って前年比145%と大幅な伸びをみせました。

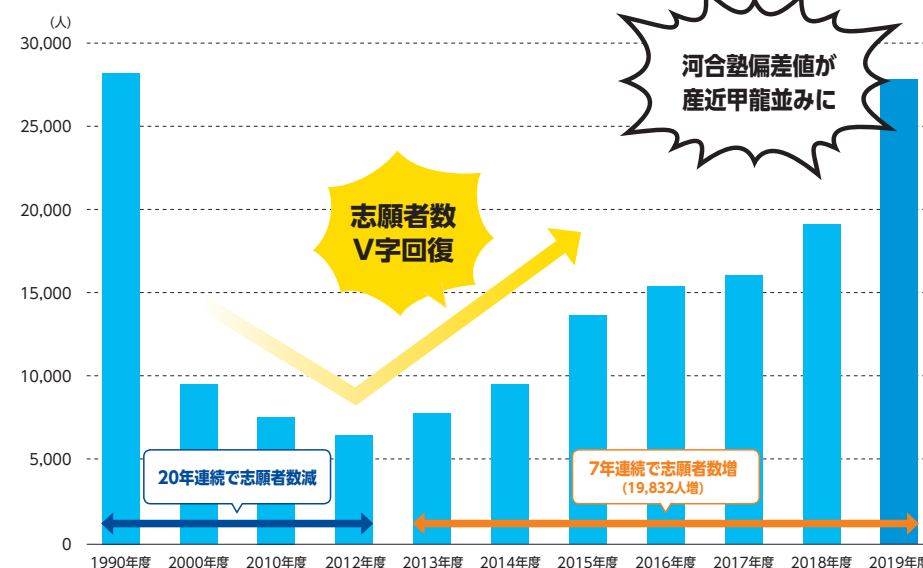
また、志願者の増加だけでなく、他大学と比較した相対的なポジショニングのアップにも成功しており、

入学試験における外部指標の一つである「偏差値」を基準に見てみると、

2009年度入試では各学部偏差値35～45の中にあったものが、2019年度入試では42.5～52.5と大幅に上昇し、

週刊ダイヤモンドの記事の中でも「偏差値が産近甲龍並みに!」と評価されています。

追手門学院大学の志願者数の推移



学部ごとの偏差値推移

学部	学科	2009年度	2019年度
心理学部	心理学科	45.0	→ 52.5
経済学部	経済学科	42.5	→ 52.5
経営学部	経営学科	42.5	→ 52.5
社会学部	社会学科	37.5	→ 52.5
国際教養学部	国際教養学科	37.5	→ 50.0
	国際日本学科	35.0	→ 42.5
地域創造学部	地域創造学科	—	52.5

※偏差値は河合塾の実感偏差値2009年度入試、2019年度入試の前期日程3教科型

OTEMON NEWS AND TOPICS

[追手門ニュース&トピックス]

Topics

「鶏のすき焼き」缶詰を商品開発

ベンチャービジネス研究所は、経営学部の「経営・マーケティング専攻」と「ビジネス心理専攻」の教員と学生によるプロジェクトチームを結成。茨木市からの補助金を得て、産学連携事業の一環として、地元の日本料理店「成田家」の創業当時の名物料理「鶏のすき焼き」を復活させ、ブランド化に向けたプロデュースを行いました。今回開発された「鶏のすき焼き缶詰」は、ふるさと納税の返礼品のほか、市内のJAの直売所「みしま館」でも販売されています。

料理は成田家が担当し、プロジェクトチームでは一般消費者に対するマーケティング調査や心理学実験を実施し、一般消費者の視点や意見を反映させた企画・パッケージデザイン・Webサイト上のキャッチコピー作成を担いました。



Topics

OTEMON MOVIEに動画が 続々公開!

ホームページに大学や追大生の取り組みを動画で紹介する「OTEMON MOVIE」ページを開設し、100本を超える様々な動画を公開中です。新規の動画も毎週のように追加されていきますので、是非ご覧ください。



右記から
ご覧いただけます▶



Topics

追手門学院大学「茨木×小豆島」コラボプロジェクトで商品開発に着手

茨木市と小豆島が姉妹都市であることをより多くの方に知ってもらうため、2016年から活動がスタートした本プロジェクトは、小豆島での現地調査やヒアリング、茨木市での広報活動などを行い、茨木市と小豆島の両地区の地域活性化を目標としています。

現在は茨木市の名産の「見山の赤しそ」と小豆島で生産されている「まめまめビール」とのコラボ商品を開発中。12～1月頃に試作を行う予定です。将来的には新たな繋がりとして、追手門の学

生が小豆島にある地場産業へのインターンシップ参加なども視野に活動を広げていく予定です。



コラボビールの原材料となる「赤しそ(見山産)」の葉を取る下作業を行う追大生

人権について考えよう

“人間であること”の共通性

学生時代にキリスト教の教会へ通い始めた頃、教会員が互いの姓の後に「兄弟」「姉妹」という言葉をつけて呼び合うのを聞いて、教会には兄弟・姉妹が多い、と勘違いしていました。実は、血のつながった兄弟・姉妹ということではなく、信徒は皆「神の家族の一員である」という考えから、そう呼び合っていたのですが、日本語の「兄弟」「姉妹」は普通そこまでの意味を持たないので、違和感が拭えませんでした。

それから十数年後、「世界人権宣言」の生硬な日本語訳にどうにも馴染めず、いっ自分分で訳してみようと思い立って英文を見ると、第1条でいきなり“brotherhood”という言葉に再会しました。「All human beings are born free and equal in

dignity and rights. They are endowed with reason and conscience and should act towards one another in a spirit of brotherhood.」。「すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である。人間は、理性と良心とを授けられており、互いに同胞の精神をもって行動しなければならない。」(外務省ウェブサイト)に「仮訳」として掲載されている日本語訳。

ここで“in a spirit of brotherhood”は「同胞の精神をもって」と訳されていますが、「同胞の精神」とは何でしょうか。私はこの部分を、英英辞書の語義説明を援用して「同じものから何らの差別なく生まれてきた兄弟・姉妹のように」と、あえて説明的に訳しました。

人間は傲慢な生き物ですから、国籍の違い、社会的な名声の有無、地位の上下、貧富の差など、互いの違いから身勝手に優越感を捏造し、さらにはしばしばそれを笠に着て、他者を見下し、我が物顔で振る舞うものです。そんな時、こういった人間の愚かさから、瞬時にスイッチを切り替えて、自らを引き離すためにも、ここでの“brotherhood”は、少し意味を噛み砕いて訳しておいた方が良いと考えたのです。日本語の「兄弟」や「同胞」だけでは、重要な意味がどうしても抜け落ちてしまいます。

そんな経緯もあって、私が“人権”を考える時にはいつも、“わたしたちは同じものから生まれてきた”というこの感覚が、出発点となっています。

学長補佐 齊藤一誠

Event

新キャンパスではじめての学祭!

今年の学祭は新キャンパス(茨木総持寺キャンパス)に場所を移して、2019年11月2～3日の2日間、同じ敷地内にある追手門学院中・高等学校との合同学園祭として開催されます。さかなクンをゲストに迎えたトークショーをはじめ、2日間で5つの講演会や学生プレゼン大会など多数のイベントを開催。模擬店も学生出店だけでなく、卒業生や近隣地域、連携協定を結ぶ地方の自治体などからの出店もあり、大きな賑わいが生まれる2日間となります。

Topics

全教職員を対象にLGBTを理解する研修会を実施

追手門学院の全教職員が一堂に会して行われる夏季全体研修において、近年の社会的関心の高まりを受けて、LGBTをテーマに一般社団法人LGBT協会の清水展人さんを講師にお迎えし、学校現場の教職員が知っておくべきLGBTや性的指向、性自認などについての理解を深めました。



清水展人氏の著書

Topics



キャンパスアテンドスタッフが活躍

新キャンパスの開設に伴い、見学者のキャンパスツアーのアテンドとして学生スタッフが募集しました。約80人の学生が3日間の全体研修や個別練習などを経て、卒業生向けの見学会や地域住民向けの内覧会、竣工式など多くのイベントで来場者を迎え、その後も継続的に見学者対応を担っています。

Sports

公門なつのさん(社会学部2年生)が銀メダル獲得!

2019年5月31日から3日間、スペイン・バルセロナで開催されたアーティスティックスイミングの国際大会「FINA AS ワールドシリーズ 第8戦スペインオープン」に日本代表として出場した公門なつのさんは、7カ国が出場したコンビネーションで、カリブの海賊をテーマに気迫溢れる演技を行い、銀メダルを獲得しました。



Event

おうてもんパビリオン開催!

2019年9月23日に毎日放送本社のちゃやまちプラザにて追手門学院の様々なコンテンツを体験できるイベント「おうてもんパビリオン」を開催しました。ステージゾーン、グローバルゾーン、クラブゾーンの3つのゾーンに分かれ、チア

ダンスやラグビー体験、英会話にロボットプログラミング、書道体験など、その他の様々な体験型ブースやステージイベントが多くの来場者で賑わいました。



Topics

村上喜都ゼミが2つのオリジナルメニューを提供!

8月17～18日の2日間にわたって行われたオープンキャンパスにて、北摂総合研究所「食」のプロジェクトの一環として行っている「見山の郷商品開発プロジェクト」と「追手丼プロジェクト」が、それぞれ独自に開発した商品を販売しました。「見山(の特産品)を(たっぷり)にぎり(ました)」をコンセプトに見山の魅力をたっぷり詰め込んだ色鮮やかな「見山をにぎり」。若者の魚離れや野菜不足という課題を解決するため、両

者を美味しく効率よく摂取できる「ランチBOXで追手“軽”丼(おてがるどん)」。どちらの商品も各日限定50食で販売されましたが、両日とも大盛況のうちに完売しました。

次回、「ランチBOXで追手“軽”丼」は10月23～24日に茨木総持寺キャンパスで、「見山をにぎり」は11月2～3日に行われる学祭にて、一般販売を予定していますので、ぜひこの機会にご賞味ください。

追手“軽”丼と見山をにぎり▶



大塚製薬株式会社と連携協定を締結

2019年7月17日に大塚製薬株式会社と、スポーツ振興及び地域連携活動に関する連携協定を締結しました。協定を機に大塚製薬株式会社から熱中症対策としての健康管理方法を本学の学生が学び、地域の住民向けに学生が指導員となって普及を図っていきます。



Award

日本認知心理学会新規性評価部門 優秀発表賞

乾敏郎(心理学部/教授)研究チーム

心理学部の乾敏郎教授の研究チーム(乾敏郎教授、前川研究員、2019年3月に心理学部を卒業した寺前ひかりさんと杉浦優衣さん)が、日本認知心理学会の新規性評価部門において優秀発表賞を受賞しました。

受賞した「視点取得機構のシミュレーション仮説の検討ー乗り物酔い感受性との関係ー」では、身体の平衡感覚をつかさどる前庭および三半規管の感覚が高い人(いわゆる乗り物酔いをしやすい人)は、そうでない人よりも「他者の視点を知覚する能力が高い」ことを実験から明らかにしました。

授与元/日本認知心理学会(2019年5月)

大同生命地域研究賞

重松伸司(名誉教授)

「地域研究」とは、人文科学、社会科学あるいは自然科学のいずれの分野を問わず、発展途上地域または周辺・辺境地域における人間の営みについて、地域に密着した実証的手法により解明を試みる学術的研究を指し、本賞は多年にわたりその発展に著しく貢献した研究者1名に対して贈られる賞です。今回は「ベンガル湾海域文明圏の史学的研究」が高く評価され受賞されました。

授与元/公益財団法人 大同生命国際文化基金(2019年7月)

Carlos P. Ramos Award for Best Conference Paper

藤原直樹(地域創造学部/准教授)

フィリピン大学で開催されたEastern Regional Organization for Public Administration 2019 Conference(行政に関するアジア・太平洋地域機関研究大会2019)、議題: The Future of Public Administration: Rethinking Resilience, Equity, and Sustainability in the Region and Beyond(行政管理の未来:地域とそれを超える強靱さ、平等、そして持続可能性の再検討)にて、地域創造学部の藤原直樹准教授がCarlos P. Ramos Award for Best Conference Paperに選ばれ、表彰されました。

この賞は、研究機関の創立者であるCarlos P. Ramos を称え、大会で発表された論文の中で最も行政管理に貢献すると評価された論文に授与されます。

授与元/Eastern Regional Organization for Public Administration(2019年9月)

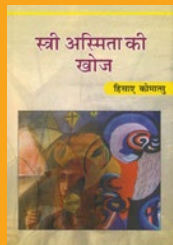
BOOKS

追手門学院大学・教員の著書(五十音順)

※教員の所属学部は2019年10月1日時点のものです



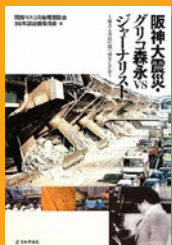
環境社会学の考え方
ー暮らしをみつめる12の視点ー
足立重和(社会学部)共著
2019年4月/ミネルヴァ書房



Stri Asmita Ki Khoj
(女性の自我探究)
小松久恵(国際教養学部)著
2019年2月/Nayi Kitab
Prakashan



フードバンクの多様性と
サプライチェーンの進化
ー食品寄付の海外動向と日本における課題ー
佐藤敦信(地域創造学部)共著
2019年7月/筑波書房



阪神大震災・グリコ森永
VSジャーナリスト
~権力と市民の間で何をしたか~
泊吉美(地域創造学部)共著
2009年3月/日本評論社



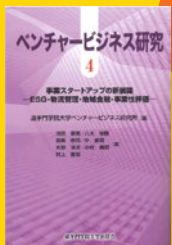
改訂版
国際社会を学ぶ
中村都(基礎教育機構)共著
2019年9月/晃洋書房



電子出版活用型
図書館プロジェクト
湯浅俊彦(国際教養学部)著
2019年3月/出版メディアパル



実践!
グッドコーチング
吉田良治(客員教授)取材協力
2019年7月/PHP研究所



ベンチャービジネス研究4
池田信寛/八木俊輔/宮崎崇将/朴修賢/
水野浩児/小牧義昭/村上喜都
(ベンチャービジネス研究所)著書
2019年3月

追手門
学院大学
出版会